



スポーツ秋田

題字：辻 兵吉 元県体協会長



パリ2024パラリンピック
マラソン(男子視覚障がいクラス)
10位 熊谷豊(三井ダイレクト損保)



SAGA2024国スポ
レスリング成年男子グレコローマンスタイル77kg級
優勝 櫻庭功大(自衛隊体育学校)



SAGA2024国スポ
レスリング少年男子フリースタイル55kg級
優勝 山鹿辰士(秋田商業高校)

【写真提供：秋田魁新報社、三井ダイレクト損保】

contents

- ◎佐賀2024国スポ 活躍の写真..... 2
- ◎第78回国民スポーツ大会(本大会)入賞者一覧..... 3
- ◎SAGA2024 国スポ インタビュー..... 4
- ◎国スポ戦略ミーティング・第78回国民スポーツ大会
秋田県選手団報告会..... 6
- ◎パリ2024パラリンピックを振り返って..... 7
- ◎高校スポーツ2024 いざ、冬の陣..... 8
- ◎第79回国民スポーツ大会冬季大会に向けて.....10
- ◎期待のジュニアアスリートVOL.18.....11

- ◎令和6年度秋田県中学生強化選手育成事業
中・高連携強化プロジェクト.....12
- ◎2024日中成人スポーツ交流(受入).....13
- ◎『2024アスリート支援・企業セミナー』開催報告.....14
- ◎第51回日独スポーツ少年団同時交流 ドイツ派遣事業/
第47回秋田県スポーツ少年団(競技別)交流大会.....15
- ◎県内スポーツの主なできごと/秋田県県民栄誉章顕彰式...16
- ◎賛助会員/オフィシャルサポーター/会議録(抄)/
令和6年度 関係団体創立記念行事一覧/訃報/
編集後記.....17

オフィシャルパートナー

※五十音順(敬称略)



富士フイルム BI 秋田





バスケットボール 成年男子 準優勝
J R東日本徇秋田支社



水泳（競泳） 少年男子A
200m背泳ぎ 準優勝 白鳥航生



カヌー 成年女子 スラローム
カナディアンシングル25G・15G
準優勝 佐々木廉

佐賀国スポ 2024 新しい大会へ。



ローイング 少年女子
ダブルスカル 準優勝
本荘高校



クレー射撃 成年男子
トラップ団体 3位・総合成績 4位
チーム秋田



カヌー 成年男子 スラローム
カナディアンシングル
25G 3位・15G 4位 佐々木将汰



水泳（競泳） 少年女子A
50m自由形 4位 高橋凜



水泳（競泳） 少年男子A
400m個人メドレー 4位 鈴木大斗



レスリング 成年男子
フリースタイル 125kg級
5位 織山昭成



レスリング 少年男子
フリースタイル 65kg級
5位 加成真之介



ライフル射撃 少年男子
チームピストル60発
5位 平川慶真



相撲 成年男子
個人
5位 平野颯人



相撲 成年男子 団体 5位 チーム秋田

[写真提供：秋田魁新報社・競技団体関係者]



第78回国民スポーツ大会(本大会) 入賞者一覧

No.	順位	競技名	種別	種目	氏名	所属	点数
1	1位	レスリング	成年男子	グレコローマンスタイル77kg級	櫻庭 功大	自衛隊体育学校	8
2		レスリング	少年男子	フリースタイル55kg級	山鹿 辰士	秋田商業高校	8
3	2位	カヌーS L	成年女子	カナディアンシングル (25G)	佐々木 廉	万六建設(株)	7
4		カヌーS L	成年女子	カナディアンシングル (15G)	佐々木 廉	万六建設(株)	7
5		水泳(競泳)	少年男子A	200m背泳ぎ	白鳥 航生	能代松陽高校	7
6		ローイング	少年女子	ダブルスカル	チーム秋田(本荘高校)		21
7		バスケットボール	成年男子		チーム秋田(JR東日本(株)秋田支社)		35
8	3位	カヌーS L	成年男子	カナディアンシングル (25G)	佐々木 将汰	万六建設(株)	6
9		クレー射撃	成年男子	トラップ団体	チーム秋田		18
10	4位	カヌーS L	成年男子	カナディアンシングル (15G)	佐々木 将汰	万六建設(株)	5
11		水泳(競泳)	少年男子A	400m個人メドレー	鈴木 大斗	秋田南高校	5
12		水泳(競泳)	少年女子A	50m自由形	高橋 凜	秋田北高校	5
13	5位	ライフル射撃	少年男子	ビームピストル(60発)	平川 慶真	秋田工業高等専門学校	4
14		相撲	成年男子	団体	チーム秋田		7.5
15		相撲	成年男子	個人	平野 颯人	秋田県スポーツ協会	※1
16		レスリング	成年男子	フリースタイル125kg級	織山 昭成	中央大学	2.5
17		レスリング	少年男子	フリースタイル65kg級	加成 真之介	秋田商業高校	2.5
18	6位	フェンシング	成年女子	フルーレ	チーム秋田		9
19		ウエイトリフティング	少年男子	55kg級クリーン&ジャーク	松岡 珀	金足農業高校	3
20	7位	水泳(競泳)	少年女子A	100m自由形	高橋 凜	秋田北高校	2
21		馬術	少年	自由演技馬場馬術	藤原 駿	横手高校	2
22		陸上競技	成年女子	走高跳	濱田 風香	横手高校(教)	1 ※2
23	8位	水泳(競泳)	少年男子A	4×100mメドレーリレー	チーム秋田		1
24		ライフル射撃	成年男子	10mエアピストル(60発)	高橋 駿平	ヨコウン(株)	1
25		ライフル射撃	少年女子	ビームピストル(60発)	三浦 寿花	秋田高校	1
26		ウエイトリフティング	少年男子	55kg級スナッチ	松岡 珀	金足農業高校	1
27		フェンシング	少年男子	フルーレ	チーム秋田		3
28		陸上競技	少年女子共通	三段跳	伊藤 那月	秋田高校	1

※1 相撲個人入賞は天皇杯得点に含まれない。

※2 タイ入賞により点数折半



SAGA2024 国スポ インタビュー

優勝おめでとう!!

2年ぶり2度目

レスリング競技 成年男子
グレコローマンスタイル77kg級
櫻庭 功大 選手
(自衛隊体育学校)



1 [SAGA2024国スポ] に向けて重点的に取り組んできたこと

国スポに向けて、レスリングの練習では常に前にプレッシャーをかけること、組み手の取り合いに負けずに自分が有利な展開で技をかけること、グラウンドは攻めでは返し切る力、守りでは守り切る力を養うことに重点をおいて取り組んできました。

また、トレーニングでもコーチ、トレーナーの方に相談し、レスリングに必要な筋力、体力共に強化しています。

2 [SAGA2024国スポ] を振り返って

2年ぶりに優勝でき、また秋田県に貢献でき本当に良かったと思っています。コンディションもよく、試合中のパフォーマンスも調子が良かったと思うのでまた次の大会に向けて強化していきたいです。今こうして競技に専念できているのも応援や支えてくださっている方々のおかげなので感謝の気持ちでいっぱいです。

3 キャリアの中で学んだ教訓、心掛けていること

選手を続けていく中でいつも指導、応援、支援してくださっている方々のおかげで、選手を続けられている今の自分があると強く思っています。感謝の気持ちを持って練習に取り組まなければいけないし、感謝を伝えるための一つの方法として全力で試合をして結果を残していくように心掛けています。

4 秋田の子どもたちへ、スポーツ・自競技の魅力伝えてください

レスリングは何も道具を持たず、衣服を掴まず、自分の身一つで競い合うスポーツです。パワーとスピードとテクニックが必要で、技の掛け合いがダイナミックで、最後まで何が起るかわからないのが魅力的だと思います。タックルで相手を倒した時、相手を豪快に投げた時、試合で勝った時最高です!

優勝おめでとう!

レスリング競技 少年男子
フリースタイル55kg級
山鹿 辰士 選手
(秋田商業高校)



1 [SAGA2024国スポ] に向けて重点的に取り組んできたこと

インターハイから課題だった自分から攻めて先制点を取りに行く展開を作るための練習です。また、最後まで戦い続けるためには特に下半身の筋力アップが大切だと考え、練習後の走り込みや筋力トレーニングを頑張りました。

2 [SAGA2024国スポ] を振り返って

国スポまで意識して取り組んできた練習の成果がでて、課題であった先制点が取れたことが勝ちにつながったと思います。また、試合までの練習や生活、体重調整などについて沢山の人のサポートがあつての優勝だと感じています。決して、自分一人の力では優勝することが

できなかったと思います。

3 キャリアの中で学んだ教訓、心掛けていること

私が日々心にかけていることは、応援される選手になるということです。最初は単に強くなりたいという思いしかなく、ただレスリングが強くなれば良いとだけ思っていました。しかし、ある人から「人間性、人間力が大事なんだよ、強いから、オリンピックに出たから「いい人」「すごい人」ではないし、オリンピック=幸せじゃないと思う。」と言われました。その日から、ただ強くなるだけを考えていても強くなれないし、まわりの人からサポートしてもらえないと思うようになり、「いい選手」になることを目指してレスリングに取り組んできました。

4 スポーツ・自競技の魅力を教えてください

レスリングは、背中が1秒でもついたらフォール負けというルールで勝敗がついてしまうので、どんなに点差がひらいていても、逆転できる場所です。バスケットボールやサッカーとは違い、一発逆転があるのが面白いところです。

2位入賞!

ローイング競技 少年女子
ダブルスカル
小松 煌 選手(左)
渡辺 妃茉琉 選手(右)
(本荘高校)



1 [SAGA2024国スポ] に向けて重点的に取り組んできたこと

《小松》インターハイを終えてから国スポまでの短い期間の中で、インターハイで得た課題の改善に重点的に取り組んできました。ポジション変更や練習中の話し合いを通してどうしたら艇をより速く進めることができるかを追求し続け、インターハイの結果よりも上位を獲得することを目標に練習に取り組みしました。

《渡辺》長崎インターハイでは同種目で6位というとても悔しい結果で終わりました。そこから国スポまで短い期間ではありましたが、インターハイで得た課題の改善や、ポジションの変更など試行錯誤を重ねました。また、練習中や練習後に積極

的にコミュニケーションを取ることでチームとしての結束を高めました。

2 [SAGA2024国スポ] を振り返って

《小松》準優勝という結果に悔しい気持ちもありますが、インターハイを上回る結果を残せたことや先輩と一緒に大会に出場できたことはとても嬉しく、自分の自信にも繋がりと、私にとってとても大きな経験となりました。また、来年のインターハイや国スポでは今年のリベンジをかけて優勝したいという気持ちを強く抱くようになりました。

《渡辺》目標にしていた優勝を果たすことができず悔しい思いもありますが、高校生として最後の大会で先輩と一緒に漕げたこと、全国トップレベルの選手たちとレースできた経験はとてもいい刺激になりました。このような大きな成績を取ることができたのは、これまで携わっていただいた方々やたくさんの方々の応援のおかげだと思っています。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

3 キャリアの中で学んだ教訓、心掛けていること

《小松》私が心掛けていることは、どんなに厳しい練習でも諦めずに努力し続けることです。練習してきたことが結果に大きく反映されるため、全国大会での満足いくレースや結果に繋がれるように、日々の全体練習や自主練習などに励み、努力することを大切にしています。

《渡辺》高い目標を持ち、達成に向けて努力を重ねることを心掛けています。私自身、部活動に取り組む中で怪我や挫折の経験がありました。しかし、諦めず基礎トレーニングや自主トレーニングに励み、全国大会でその成果が結果として結び付いた時は本当に嬉しかったです。

4 スポーツ・自競技の魅力を教えてください

《小松》ローイング競技はチームワークが重視されるスポーツです。個人の技術を磨き、それに加えて意識や漕ぎを合わせていくことによってパフォーマンスをどんどん高めていくことができます。練習を重ね、レースで勝った瞬間の喜びをクルーで分かち合えることがこの競技の最大の魅力だと思います。

《渡辺》ローイング競技の魅力は「究極のチームスポーツ」であることだと思います。特に複数人で漕ぐ種目では、動きやタイミング、気持ちが一致していないとベストタイムを出すことはできません。また、レースにおける一体感や勝利したときの達成感他は他のスポーツでは味わうことのできない魅力であると思います。



2位入賞!

バスケットボール競技
成年男子
黒政 成広 監督(左)
斉藤 大輔 選手(右)
(J R東日本株式会社秋田支社)



1 [SAGA2024国スポ] に向けて重点的に取り組んできたこと

《黒政》ビッグマンのケガが相次ぎ、チームがサイズダウンしました。高さをスピードでカバーするため、攻防の切り替えをより一層早くすることに主眼を置き、加えて『ボールへの執着心』を合言葉に大会への準備をしました。

《斉藤》今シーズン選手が大きく入れ替わり、新たなチームでの挑戦となりました。チームのスタイルである「堅守速攻」を一人ひとりが徹底して遂行するため日々質の高い練習をすること、チームメイト同士が良い点・悪い点を共有し合うなど、コミュニケーションを取り合うことを徹底してきました。また全員が自分の良

さを存分に出せるようチームキャプテンとして前向きな声かけを心がけてきました。

2 [SAGA2024国スポ] を振り返って

《黒政》選手はピンチをチャンスに変えようと努力し、これまでにない走るバスケットを体現できましたが、あと一歩及びませんでした。6連覇達成ならず、県民の皆さまに良いニュースを届けられず残念に思います。次年度は王者奪還に全力を注ぎます。

《斉藤》今大会前、センターポジションの選手2人が怪我で出場できないというアクシデントがありましたが、チーム全員が自分の役割をしっかり認識し「とにかく勝つ!」という強い気持ちを持って大会に臨みました。6連覇達成とはならず悔しい結果にはなりましたが、チーム全員で決勝まで戦い抜けたことを誇りに思いますし、チームがレベルアップした大会となりました。

3 キャリアの中で学んだ教訓、心掛けていること

《黒政》俳優ウィル・スミスは『神は恐怖の先に人生最高のものを置く』と言っています。失敗には恐怖が伴います。しかし『失敗体験の先に学び』がある。失敗しないことが本当の意味で失敗と捉え、何事にもチャレンジし、失敗体験から学び成長していきたいと考えています。

《斉藤》バスケットボールを通して学んだ教訓は、地道に努力をし続ける重要性です。競技を続けてきた中で、何度も大きな壁にぶちあたりましたが、その壁を乗り越えようと熱い情熱と向上心を持ち地道に努力をしたことで自分自身の大きな成長に繋がりました。努力をしたことが結果として目に見えなくても必ず自分にとってプラスな経験や価値になることを信じ行動しています。

4 秋田の子どもたちへ、スポーツ・自競技の魅力を伝えてください

《黒政》私はバスケットボールを通じ、言葉の大切さを学びました。言葉はたったひとりで人を幸せにしてくれる力を持っています。言葉は勇気を与え、心をひとつにしてくれます。仲間と声を掛け合いスポーツに没頭した日々は、将来大きな財産になると思います。

《斉藤》私はバスケットボールが大好きです!バスケットボールに限らずスポーツは、目標に到達したときの達成感や互いを高めあえるチームとの出会いなど、多くの魅力があると思います。私にとってスポーツは自分自身を大きく成長させてくれる人生において欠かせないものです。皆さんも大好きなスポーツで秋田を盛り上げていきましょう!



15G・25Gともに2位入賞!

カヌー競技 成年女子
スラロームC-1 (15G・25G)
佐々木 廉 選手
(万六建設株式会社)



1 [SAGA2024国スポ] に向けて重点的に取り組んできたこと

昨年第一線を退いてから、週末時間がある時に子どもたちと一緒にカヌーに乗っていました。指導する立場からも競技に触れることができ、いつもとは違った目線で練習をすることができました。

2 [SAGA2024国スポ] を振り返って

川の流れが遅く、体力とパワーがある程度必要なコースでした。競技生活から離れて久しぶりのレースで上手くまとめられるのか不安でしたが、大事なポイントはしっかり押さえ15ゲート・25ゲートともに2位を獲得することができました。

3 キャリアの中で学んだ教訓、心掛けていること

これまで万六建設株式会社を始め、色々な方から応援やサポートをして頂きとても良い環境で競技を続けることができました。感謝の気持ちを常に持ちながら生活することを心がけています。

4 秋田の子どもたちへ、スポーツ・自競技の魅力を伝えてください

カヌー・スラローム競技は、水上で自由自在に動ける楽しさや難しいコースを攻略できた時の達成感などが魅力的です。また自然が身近に感じられるので四季を楽しめるという点も良いところです。体を動かすことはとても楽しいので、子どものうちに色々な競技に触れてみてください!

2位入賞!

水泳競技 (競泳)
少年男子A 200m背泳ぎ
白鳥 航生 選手
(能代松陽高校)



1 [SAGA2024国スポ] に向けて重点的に取り組んできたこと

スピードと持久力をつけるために意識して練習していました。ターンやタッチ、浮き上がりなど細かい技術も意識していました。「レースで隣の人には絶対負けない」という気持ちで練習に取り組み、勝負強さを鍛えられるよう励みました。

2 [SAGA2024国スポ] を振り返って

インターハイで1度泳いでいた会場だったので緊張せず臨みました。予選から想定していたタイムで泳げました。しかし、決勝では前半から積極的に仕掛けられず自分の持ち味を発揮することができませんでした。隣を意識しすぎたのが原因だと思っています。タイムは自己記録を更新

新できて良かったです。課題を見つけれられたので修正して次につなげたいです。

3 キャリアの中で学んだ教訓、心掛けていること

座右の銘である「できる、できないではなく、やるか、やらないか」を常に心に留めて、練習に取り組んでいます。また、ライバルや先輩と切磋琢磨しながら練習することで自分の力を伸ばせるということも実感しました。

4 スポーツ・自競技の魅力を教えてください

スポーツは色々な人と交流できたり、地域を盛り上げたりすることができる力があるものだと感じています。競泳は個人でタイムを競うものですが、レース前は知らなかった相手ともレース後に仲良くなることができます。自分の努力がそのままタイムにも表れる競技なので取り組んでいてやりがいがあり、面白い競技です。



国スポ戦略ミーティング・第78回国民スポーツ大会秋田県選手団報告会

令和6年11月26日(火) ANAクラウンプラザホテル秋田

秋田県全体が国民スポーツ大会（以下、「国スポ」という）に一丸となって向かう意識の醸成を図るため、これまでの取組の成果や進捗状況を振り返りつつ、今後の対策に向け士気を新たにするため、各競技団体ならびに関係各課所参会のもと、標題の戦略ミーティング並びに報告会を開催した。

まず初めに行われた戦略ミーティングは、競技団体が一堂に会するこの機会であるからこそ、互いの取組の成功事例や考え方、あるいは手探りの現状を隠さず共有することで、足踏みを強いられている状況を打破する糸口や、より良い事業の企画・立案につながるヒントを引き出せる好機として、胸襟を開いた立食形式による情報交換を行った。冒頭、本会副会長の田口將から参加者に向けて「同じ秋田にしながら他所は他所の風潮が依然根強い。同じ秋田の仲間同士、互いに共有・協働することで打破できる問題が必ずある。不利・不足・不満を漏らせばキリが無いが、今日この会ではマイナス因子に蓋をして、ゼロあるいはプラスの位置からの前向きで建設的な思考でもって臨んでいただきたい。」との挨拶があり、その後コーディネーターのシャバ駄馬男氏による軽快な参加者とのやり取りによって、参加者からは様々な考えや意見、話題が出され活発な時間となった。

この会の最中や終了後には、合同での新たな事業実施の約束が交わされたり、強みを共有する方法の一つとして競技団体間での指導者の派遣要請を取り付けるなど、競技の垣根を越えた様々な新しい取り組みが動き出す場面が見られ、次の一手を探す競技団体にとって有意義な会となった。反面、依然として現状からの脱却に踏み切ろうとしない競技団体も垣間見えたのも事実であり、主催・参加者の両者にとり有益であった。

(これを機会にと、日ごろ抱え込んだ思いや考えなどを忌憚なく話せるフラットで活気ある雰囲気)



（会は終始盛り上がり、競技の垣根なく互いの言葉に耳を傾け、様々な話題に話が及んだ様子）



〈総括コメント全文〉

戦略ミーティングの後には、秋田県副知事 猿田和三様、並びに秋田県議会議長 北林丈正様をはじめ御来賓の御参会を賜り、第78回となる今回の国民スポーツ大会（これまでの国民体育大会から新たに名称変更）の報告会を執り行った。

会の冒頭、本会会長の鶴田有司の挨拶では、各競技団体関係者、そして大会に参加した各チームの監督、コーチスタッフ、選手への労いととも、日ごろより物心両面から力強い御支援をいただく県をはじめとする関係各位並びに各課所への謝意があった。次に、来賓を代表し副知事猿田和三様、県議会議長北林丈正様より御挨拶を頂戴し、副知事からは「本来であれば今大会の素晴らしい成績でお祝いを申し上げたかったが、大変厳しい結果となった。今はデジタル、科学を取り入れる時代。かつての指導方法がそのまま通用する時代ではない。互いの情報を交換し合い、どうやったらチームが強くなるか、選手を育てることができるのかを熱心に意見交換をしていただきたい。」というコメントとともに、サッカーのフランス元代表監督のロジェ・ルメール氏の言葉を用いて、「学ぶことをやめたら、教えることをやめなければならない。」と指導者に対するメッセージを添えた。

今大会の結果・内容について本会事務局から報告ののち、本県選手団の総監督を務めた本会副会長 田口將による総括では、「県費による支援を受けながら言葉だけの“頑張っています”はもういらぬ。みんな頑張っている。成果を出すべく然るべき対策を速やかに講じ、チャレンジする姿勢を見せなければならない。現場の選手と指導者が本気で上を目指して強化に専念したくなる、そんな意識づけとその支援体制を、組織として構築していただくことを各競技団体役員に強く願います。関わる全ての立場で当事者意識を持ち、県全体が一丸となって前に向かえば、必ずや国スポの結果も後から付いてくる。秋田でスポーツに関わる者全てが一緒になって秋田を盛り上げるんだという機運を、国民スポーツ大会を通して創りあげたい。チャレンジし続けて伝統を守るとい言葉を残された方がいる。パッション。アクション。動けば変わる。前を見て進むことを皆と誓いたい。」という強いメッセージで会が締めくくられた。



パリ2024パラリンピックを振り返って

陸上競技 マラソン(男子視覚障がいクラス)

くまがい
熊谷
三井ダイレクト損保所属

ゆたか
豊 選手

東京2020パラリンピック競技大会に続き、二度目となるパリ2024パラリンピック競技大会に出場できたことを嬉しく思っています。パラリンピック出場をかけた各選考大会はとても厳しい状況下でしたが、無事に最終選考に残り出場権を獲得することができました。

嬉しさと同時に、競技者として胸を張ってパラリンピックの舞台上で勝負したいという気持ちが沸いてきました。

マラソンがスタートし、直後から第二集団を引っ張り、設定したペース通りに順調に走っていた中、足元が不安定な場所で転倒してしまいました。転倒を言い訳にしたくなかったため、転倒していないと自身に言い聞かせ、最後まで諦めず全力で走り切りました。

結果は10位と入賞に届きませんでした。しかし、最後まで勝負した結果だったため悔いはないです。次のロスで開催されるパラリンピックに向けて、マラソン後の翌日早朝から練習を開始しました。競技を継続できているのは、秋田の皆さまをはじめ沢山の方の応援のおかげだと感じています。更に速く走れるよう引き続き全力で頑張っていきます。



[写真提供：三井ダイレクト損保]



高校スポーツ2024 いざ、冬の陣



駅伝競走男子
金足農業高校 (56年ぶり12回目)

主将 おぎわら たいよう
荻原 太陽

私たち金足農業高校陸上競技部は、全国高等学校駅伝競走大会秋田県予選で優勝し、56年ぶり12回目の全国高等学校駅伝競走大会への出場権を得ることができました。秋田県予選では、厳しいコンディションの中、選手一人一人が準備万端で臨むことができ、粘り強い走りでも優勝することができました。昨年は8年ぶりの東北大会出場を果たし、来年こそは都大路を走るんだと誓い、チーム全体で切磋琢磨しながら練習に取り組んできました。

今年のチームの良さは、粘り強い走りとレース終盤でのスプリント力です。負けず嫌いな選手が多く、競り合ったときには負けません。都大路では、これまで支えてくださった方々への感謝の気持ちと、先輩方や他の秋田県選手の思いを1本の襷に込めて、ゴールまでしっかり繋がりたいと思います。失敗を恐れず、1秒を大切に走る走りをして、全員でベストを尽くしてきます。応援よろしくお願いします。



駅伝競走女子
秋田北鷹高校 (4年ぶり5回目)

主将 なかむら さくら
中村 咲愛

私たち秋田北鷹高校陸上競技部女子駅伝チームは、12月22日に行われる全国高等学校駅伝競走大会に出場します。

秋田北鷹として4年ぶり5回目の優勝を勝ち取り、夢の舞台上で戦うことができます。これまで、たくさんの方々から応援をいただいたおかげで勝つことができました。本当にありがとうございました。しかし県予選では、優勝はできたものの課題も残りました。今後は全国大会に向け、チーム全体の底上げをしていながら、少しでもベストな状態で挑めるよう頑張っていきます。そして私たちのことを応援して下さる全ての皆さんへ自分たちの走りでも感謝を伝えることができるよう、チーム一丸となって初舞台を駆け抜けたと思います。秋田県代表としての誇りと責任を持ちながら、チーム全員でベストを尽くします。私たち秋田北鷹高校陸上競技部女子駅伝チームの応援、よろしくお願いします。



バレーボール男子
雄物川高校 (30年連続30回目)

主将 さとう ゆづき
佐藤 優月

私たち雄物川高等学校男子バレーボール部は、1月5日から東京体育館で開催される春の高校バレーに出場します。今年度は、安定したサーブレシーブから多彩な攻撃を展開するバレーをし、日々練習に取り組んでいます。インターハイでは予選リーグを突破し、決勝トーナメントでは3回戦で高川学園高等学校に敗退してしまいました。国民スポーツ大会では、1回戦鹿児島県に敗退しとても悔しい思いをしました。インターハイでも国民スポーツ大会でも自分たちのバレーを展開できずに負けてしまいました。様々なプレッシャーがある中でも春高では集大成として自分たちのやってきたバレーをしたいと思います。家族、地域の方々、また応援して下さる方々へ伝統の「最後まで諦めない執念のバレー」をお見せし、感動と恩返しをお届けできるようにプレーします。去年の春高バレーでは初戦敗退という悔しい思いをし、1年間全国で勝ち上がれるチームを目指して練習をしてきました。30年連続出場という節目の年に、雄物川高校の新しい歴史をつくるためにチーム一丸となって頑張ります。応援よろしくお願いします。



バレーボール女子
秋田令和高校 (※3年連続4回目)

※旧秋田和洋女子高校の出場回数含む

主将 いしかわ はな
石川 花菜

私たち秋田令和高等学校女子バレーボール部は、春高バレー秋田県予選で優勝を果たし、3年連続全国大会の出場権を獲得することが出来ました。決勝戦まで取っておいだ攻撃を炸裂させ、1セット目の出だしから自分たちのバレーでゲームを展開し、インターハイ予選での悔しさを全て出し切る試合をすることができました。このメンバーでもう一度全国に行くことを誓っていたこと、そして、この夏はどのチームよりも困難な状況乗り越える練習をやり切った自信があったので、苦しい状況になっても落ち着いて立て直し、勝ち切ることができたと思います。昨年の春高では、全国での勝利の難しさを実感させられました。県予選は通過点だと考え、昨年度の自分達を超える「全国での2勝」を果たし、「全国ベスト16」を目標に、チームの合言葉でもある“一体感”をさらに高めることができるようにこれからの練習を今まで以上に力を入れて頑張ります。応援して下さい。方々への感謝の気持ちを忘れず、全国での勝利で恩返しします。チーム一丸となり一戦必勝で頑張ります。応援よろしくお願いします。





- ・全国高等学校駅伝競走大会 12/22
- ・全国高等学校バスケットボール選手権大会 12/23~29
- ・全国高等学校ラグビーフットボール大会 12/27~1/7
- ・全国高等学校サッカー選手権大会 12/28~1/13
- ・全日本バレーボール高等学校選手権大会 1/5~12

- 京都府 たけびしスタジアム京都
- 東京都 東京体育館/武蔵野の森総合スポーツプラザ
- 大阪府 東大阪市花園ラグビー場ほか
- 東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県 国立競技場 ほか
- 東京都 東京体育館



バスケットボール男子
秋田工業高校（7年ぶり4回目）

主将 おおすみ こあ
大角 洸碧

私たち秋田工業高校バスケットボール部は、県予選で優勝し、7年ぶりにウインターカップ出場権を手にすることができました。悔しい思いをしたインターハイ予選では、終盤オフェンスが自分たちの思うように機能せず、逆転を許してしまう結果となりました。その反省を生かし、日々の練習や練習試合で早い展開の攻撃とスリーポイントシュートに磨きをかけ、自信をつけてきました。その結果ウインターカップ予選では、オフェンスがうまく機能し、リズムよくシュートまで繋げることができました。

ウインターカップでは、今まで自分たちがやってきたことを信じ、一試合でも長くこのメンバーで試合ができるよう頑張ります。また、秋田県の代表として自覚と誇りをもってプレーをすること、今まで支えてきてくれた人々への感謝の気持ちを忘れずに最後まで戦い抜きたいと思えます。応援よろしくお願ひします。



バスケットボール女子
湯沢翔北高校（※2年ぶり22回目）

※旧湯沢北高校の出場回数含む

主将 くさなき
草薨 こまち

私たちは県予選大会で優勝を果たし、ウインターカップへの出場権を手にすることができました。夏のインターハイ以来、達成できなかった全国での勝利へ向け、私たちは基準を上げて練習に取り組んできました。思うように成果が上がらずに苦しいことも沢山ありました。この度再び全国へ挑むチャンスが得られたことを素直に喜び、さらに意識を高めて練習に励んでいます。3年生の私たちは、ウインターカップが集大成の大会になるので、日頃から御支援くださっている皆さんへの感謝を結果で示せるよう頑張りたいと思っています。試合では、私たちの持ち味であるスピードを生かして果敢なバスケットを展開したいと思います。これまでは肝心なところで浮き足立つ姿を見せてしまうことがチームとしての課題でした。この課題を解決できたことを本番のゲームでお見せできるように、チーム一丸となって取り組みます。応援、よろしくお願ひします。



サッカー男子
西目高校（12年ぶり14回目）

主将 ほった こうせい
堀田 昊生

私たち西目高校サッカー部は、第103回全国高校サッカー選手権大会秋田県大会で優勝し、12年ぶり14回目の全国大会出場権を獲得することができました。

夏のインターハイでは初戦で大敗を喫するという悔しい結果でした。しかし、それをバネに日々の練習の意識が高まったことで、チーム力の向上を実感しながら自信を持って秋田県大会を戦うことができました。身体と心の最高の準備をすれば全国大会でも勝つことができると信じています。

秋田県大会を勝ち抜く過程で、仲間や家族、学校関係者、地域の方々など多くの方の支えを感じながら戦うことができました。また、全国大会出場を決めた後もさらに多くの方々の応援を感じています。西目高校サッカー部らしい直向きに、献身的に走り続ける姿をお見せすることで恩返しをしたいと思っています。引き続き応援よろしくお願ひします。



ラグビーフットボール
秋田工業高校（5年連続72回目）

主将 みうら そうた
三浦 颯太

私たち秋田工業ラグビー部は、先日行われた第104回全国高等学校ラグビーフットボール大会秋田県予選で優勝し、5年連続72回目の出場権を勝ち取ることができました。優勝することができたのは、部員の努力だけではなく、多くの皆様の御支援や応援があったからだと思っています。とても感謝しています。

今年は昨年と同様に「ベスト8」を目標に掲げました。去年の初戦敗退という悔しい結果をバネに、部員一人ひとりが目標を達成するために、この一年間切磋琢磨してきました。

全国大会では秋田工業の伝統である「タックル」を十分に発揮し、FW・BK一体となったアップテンポなラグビーをして、今まで支えてくださった方々に感謝の気持ちを込めて、全力でプレーしたいと思っています。花園で秋田工業のラグビーを体現できるよう頑張ります。応援よろしくお願ひします。





第79回国民スポーツ大会冬季大会に向けて

大会概要	スケート競技会（スピード・フィギュア）	スキー競技会
開催地	スピード：群馬県（渋川市） ○高崎健康福祉大学伊香保リンク フィギュア：岡山県（倉敷市） ○ヘルスピア倉敷アイスアリーナ	秋田県（鹿角市） ○鹿角トレーニングセンターアルパス・花輪スキー場
会期	2025年1月26日（日）～2月5日（水）	2025年2月13日（木）～16日（日）



『伊香保国スポ2025に向けて』 秋田県スケート連盟 島本 知克（スピード部長）

昨年度、北海道苫小牧市で行われた『とまこまい国スポ2024』において、秋田中央高校3年（当時2年）の齊藤匡哉が少年男子1500mで第3位という成績を残した。秋田県選手がスケート国体において表彰台に上がったのは十数年ぶりのことであり、北海道選手2名に続く3位入賞は持てる力を十二分に発揮した結果と言える。参加選手のうち2名は、秋田県の事業である「AKITAスーパーわか杉っ子発掘プロジェクト」のタレント生であり、能力の発掘から育成まで県スケート連盟関わった選手たちである。彼らは互いに切磋琢磨する中で能力を高め、目標に向かって取り組んできた。今回の結果は事業の成果と位置づけることもでき、今後の事業展開にも大きな励みになると考える。

今年度は、4月からオフシーズンのトレーニングを始め、夏には氷を求めて青森県八戸市にあるYSアリーナで長期の合宿を行った。また、県外の強豪高校と合同で陸上トレーニングの合宿を行うなど、選手それぞれが自らのレベルアップに取り組んだ。秋田県立スケート場がオープンしてからは、練習の拠点を氷上に移し日々トレーニングに励んでいる。今年度の「伊香保国スポ2025」では、少年種目に加え成年選手にもエントリー予定である。昨年度の成績を上回る結果を残すことができるよう、県選手団一丸となって競技に臨みたい。



『第79回あきた鹿角国スポ2025に向けて』 秋田県スキー連盟 畠山 芳彦（競技本部長）

秋田県スキー連盟は、県スポーツ協会が掲げる「チームAKITA1,000点プラン」を念頭に置き、国スポに挑んでいる。『あきた鹿角国スポ2025』に於いて、県民の皆様、応援を頂く全ての方々に感動を与えられるよう、選手個々が最高のパフォーマンスを披露できるように、監督・コーチ・スタッフ全員が一丸となってサポートし活躍できる環境を作り上げなければならない。

常勝北海道を撃破し、男女総合・女子総合（2連覇）の目標を達成し、『あきた鹿角国スポ2025』を終えたい。目標達成に向けて、選手、一人ひとりがオフシーズンに厳しいトレーニングに耐えた事を思い浮かべ、最後まで競技を諦めない強い信念が必須である。その延長線上に優勝・入賞が見えてくるはずである。また、監督・コーチ陣も「勝」という強い信念で選手個々をリスペクトしつつ競技力を信じる事が大事である。本部役員も、全面的にサポートし、行動し易い環境を提供する事も必要と考える。第79回国スポは、選手層を見ても、前回のやまがた国スポより有望選手が少ない。また、第9回アジア冬季競技大会が重なり、選手層の薄い秋田県にとって非常に厳しい地元大会と捉えているが、これまででも同じような状況を選手達が幾度もクリアし、力を発揮し結果を出していたので、不安はあるが、会場が感激の渦で盛り上がる状況が目に見えよう。

アルペン陣は、やまがた国スポで男子0点であり、今回の地元国スポで雪辱を果たして点数を獲得してくれるだろうと期待する。

ジャンプ・コンバインド陣も30点前後の獲得点数では、これまでの実績からは物足りない、少なくとも40点まで上げてもらわなければならない。

クロスカントリー陣は、前回より厳しくなる予想はあるが、前回同様の点数を確保してもらわなければならない。

秋田県チームとして、各カテゴリーに於いて、0点をなくし、万遍なく点数を積み上げ、優勝・入賞者が前回は上回る事で目標を成し遂げたい。

【有望選手】

アルペン：森下つば実（角館高）・鎌田宇朗（早稲田大 アジア大会推薦選手）

クロスカントリー：畠山香恋（日本大 アジア大会推薦選手）・本田千佳（県スポ協）・畔上凜花（日本大）

石田葵（秋田北鷹高）・小鮎穂乃実（日本体育大）・田中聖土（自衛隊）・藤本孝輔（早稲田大）

ジャンプ・コンバインド：遠田廣斗（鹿角高）・成田絆（ガリウムワックス）・宮崎敬太（東京美装）

海沼史人（東海大）・成田健太（明治大）



期待のジュニアアスリート vol.18

秋田県中学生強化選手の中から、3名の選手に競技の魅力について聞きました。

スキー(アルペン)競技



こだま はると
児玉 遥飛
(花輪中 3年)

Q 1.競技の魅力・醍醐味は？

最後まで誰が勝つか分からないところです。
100分の1秒まで分からない世界なので逆転できるところが魅力です。

Q 2.日々の練習で意識していることや大切にしていることは？

外足に乗ることと一本一本滑るときに集中して滑ることです。スピードが出る競技で死と隣り合わせなのでとても大切にしています。

Q 3.今シーズンの大会の明確な目標は？

全国中学スキー大会とジュニアオリンピックスキーで優勝することです。応援よろしくお願ひします。

Q 4.憧れの選手とその理由は？

鎌田宇朗選手です。自分が小学校のジュニアオリンピックで失敗したときに声を掛けてもらい、そこからまた頑張ろうと思わせてくれたからです。誠実でユースオリンピックで4位になるなど尊敬しているからです。

Q 5.アスリートとしての将来の夢は？

ワールドカップに出場することです。そのためには近々開催される全中やジュニアオリンピックで優勝し、ワールドカップに繋げたいです。



スケート(スピード)競技



まつだ たいせい
松田 泰聖
(御野場中 3年)

Q 1.競技との出会い・きっかけは？

スケート教室に通った際、興味を持ったのがきっかけでした。

Q 2.中学生になって競技を通じて学んだことや成長出来たことは？

他県の選手と競技についての会話をしていくうちに、初対面の人とのコミュニケーションをとる能力を成長させることが出来ました。

Q 3.今シーズンの大会の明確な目標は？

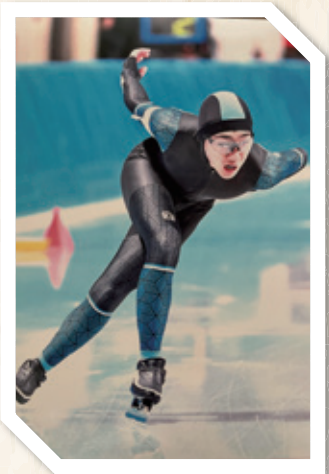
全国中学校スケート大会で入賞することです。

Q 4.憧れの選手とその理由は？

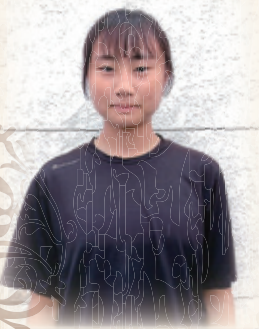
ジョーダン・ストルツ選手です。彼はとても速く世界中で活躍している選手だからです。僕も世界を驚かせるような選手になりたいです。

Q 5.アスリートとしての将来の夢は？

オリンピックに出場して金メダルを獲ることです。



スキー(クロスカンтриー)競技



ふるた まの
古田 麻乃
(花輪中 3年)

Q 1.競技の魅力・醍醐味は？

自分一人の力ではなく、毎日スキー板の手入れをしてくれる父やその日の天候、雪質に合ったワックス調整をしてくださるワックスマンなど、色々な方々のサポートがあって滑れる競技です。走り終えた達成感は最高です。

Q 2.中学生になって競技を通じて学んだことや成長出来たことは？

技術面を指導して下さるコーチやワックスマン、家族の支えがあって出来る競技だということを学びました。困難や辛い出来事に直面しても逃げずに最後までやり抜く強い精神力を培うことが出来ました。

Q 3.今シーズンの明確な目標は？

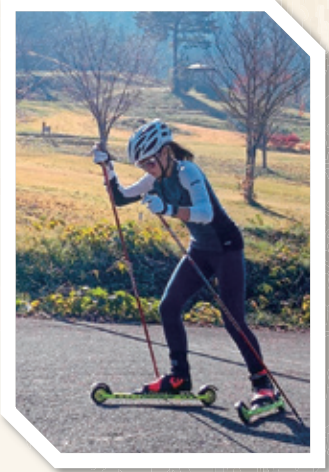
全国中学校スキー大会で入賞することです。

Q 4.憧れの選手とその理由は？

池江璃花子選手です。大病を患っても競技に対する夢を諦めず復帰し、オリンピックで活躍したからです。

Q 5.アスリートとしての将来の夢は？

自分の滑りで見ると人を勇気づけたり、元気を与えられる選手になりたいです。





令和6年度秋田県中学生強化選手育成事業 中・高連携強化プロジェクト

第1弾 パフォーマンステスト～令和6年11月10日(日)開催～

国内外で活躍できるトップアスリートを育成するため、科学的根拠に基づいた運動能力テスト「パフォーマンステスト」を実施し、選手に自身の課題を自覚させ自発的な弱点克服への取り組みを促しました。

参加した秋田県中学生強化選手14競技59名と、チームAKITA強化・育成システム指定競技の高校生選手8競技76名が、体力要素別に分類された9項目の測定に臨みました。



50m走



50m 8の字走



50m 3往復走



開脚テスト



垂直跳び



メンタルテスト

測定項目の50m走のタイムを基準とし、同じ距離で素早い切り直し動作が必要になる50m 8の字走、切り直し動作を含めた6倍の距離走となる50m 3往復走を比較することで、自身の走力、スピード持久力、アジリティの相関性や弱点を洗い出す事が出来ます。短時間で大きな力を発揮する垂直跳びは、競技においても重要な体力要素となるため、選手たちは真剣に取り組みました。

当日の選手の動きを観察し、トレーニングを指導して下さった沼田幹雄講師(株式会社bigground)からは、「股関節にまつわる筋肉が上手に使えていない

選手が目立つので臀部や腿部前後のトレーニングの必要性がある。」とアドバイスとともに即時トレーニングセッションの内容に組み込まれました。また、メンタルテストも実施して、競技中の心理状態を確認し、渡瀬友斗講師(秋田県スポーツ科学センターメンタルトレーニングアドバイザー)から指導を受けました。

定期的な体力測定やメンタルテストは、現段階の競技力を可視化し、具体的な目標値の設定や、疲労及び怪我を早期発見するために非常に有効なデータです。パフォーマンステストを通じ、基礎体力の向上が競技力の向上につながることを選手が認識し、自身の競技に活かしてほしいと思います。



沼田 幹雄 講師

第2弾 指導者研修～令和6年12月1日(日)開催～



パフォーマンステストで浮き彫りとなった課題は、本プロジェクトの第2弾となる「指導者研修」で、各競技団体強化担当者が共有し、今後の指導の手立てとしました。研修には、18競技52名の指導者が一堂に

パフォーマンステストで浮き彫りとなった課題は、本プロジェクトの第2弾となる「指導者研修」で、各競技団体強化担当者が共有し、今後の指導の手立てとしました。研修には、18競技52名の指導者が一堂に



また、午後からは土屋裕陸講師(大阪体育大学大学院教授)より「プレイヤーの主体性を育てるコーチング：競技力と人間力の向上を目指して」と題して、講義をしていただきました。土屋講師は、現代の指導

場面のさまざまな事例を紹介し、参加者自身に自己の指導を振り返らせながらプレイヤーズ・センタードなコーチングの重要性を強調されました。また、靴紐の結び方や箸の持ち方などのアクティビティを取り入れながら、実際の指導現場での声かけを再現し、自己の指導への気づきを促しました。参加者からは、「これまでの指導を振り返ることができ、改めていく必要があると強く感じる事ができた。学び続ける指導者でありたいと思った。」「選手の主体性を引き出すためのスキルを学ぶことができた。日頃のコーチングに活用したい。」などの喜びの声が多くあがりました。



公益財団法人秋田県スポーツ協会創立100周年記念

2024日中成人スポーツ交流 (受入)

= スポーツ庁国庫補助事業 =

本交流は、2007年の日中国交正常化35周年に伴い、日中両国政府が同年を「日中文化・スポーツ交流年」としたことを契機として始まり、生涯にわたりスポーツに親しむ成人を対象として、日中両国のスポーツ振興と相互理解を深めることを目的として実施しており、これまでに1,300名を超える両国の参加者が互いの国を訪問し、スポーツを通じて、相互理解と友好を深めてきた。

新型コロナウイルスの影響により、令和2年度以降の交流は中止を余儀なくされたが、本年度は5年ぶりに相互訪問による交流が実現し、令和6年5月24日(金)～28日(火)の中華人民共和国・広東省深圳市への派遣に続き、令和6年10月18日(金)～22日(火)まで5日間の日程で、受入事業を初めて本県で開催した。中華全国体育総会から推薦されたテニス、バスケットボール、卓球、バドミントンの各競技の監督・選手ら59名が来日し、本県の選手と各競技の試合や練習を通じて友好や親善を深めたほか、県内での観光やショッピングを楽しんだ。

勝敗にこだわらずスポーツを楽しむ、親しむ生涯スポーツの振興が、親善と友好を図り国際間の融和となり発展していくことを今後も期待している。



【開始式】



【バドミントン競技の様子】



【卓球競技の様子】

◆参加者の声◆

●バドミントン競技

監督兼主任運営員 原田 利雄

開始式の時、5月の中国深圳市へ行ったバドミントン競技の選手、役員の様子が知られて緊張と準備の疲れが和らいだ感じでスタートした。初日のウォーミングアップ、ミニゲームから笑い声が絶えることなく、携帯電話機の中国語アプリが大活躍した。

交流試合は団体戦が4-5、個人戦が5-4と全くの互角の結果に両チームの選手は歓喜を上げて抱き合った。一日半の交流がとても短く、深圳市王監督から「ジュニア世代の秋田県と深圳市の交流をしたい」との提案があったほどだった。

競技別歓迎夕食会は笑い涙で大いに盛り上がり、いつになるか分からない再会を多くの選手が約束をしていた。

●卓球競技

選手 時岡 憲司

交流試合を通して、卓球世界一である中国の選手は、日本の選手と比べて、サーブの威力、一本一本の質の高さなど、点数を取るための技術の高さと相手が嫌がるような特徴があり、考え方の違いを直接感じ取ることができ、今後の指導などに役立つものがたくさんあった。

懇親会では、最初日本人のみの席にいたが、せっかくなので、中国選手団と交流をしないと損だと思い、思い切って中国人の輪の中に入っていった結果、通訳さんの手助けと片言の英語やスマートフォンの翻訳機能を通して意思疎通ができ、大いに盛り上がった。

普段の生活の中でも何かと尻込みして、挑戦しないでいることが多かったが、やってみることで新たな発見ができることを改めて感じる事ができ、これからの人生の糧となる貴重な体験ができて感謝している。

『2024アスリート支援・企業セミナー』開催報告

令和6年11月14日(木)にホテルメトロポリタン秋田にて『2024アスリート支援・企業セミナー』を開催いたしました。

当日は、アスリートや学校関係者、企業様まで約40名のご参加をいただき、下記の通り、事業の紹介、内定者の紹介、そして新しい試みとしてプロのお立場から、株式会社ブラウブリッツ秋田の岩瀬社長をお招きし、スポーツMCのシャバ駄馬男さんとのスポーツトークが繰り広げられ、盛況のうちに終えることができました。

ご参加者からは、「採用企業とアスリートの両方の立場からメリットを聞くことができて良かった」「普段聞けない岩瀬社長の話が興味深かった」などのお声をいただきました。

《2024アスリート支援・企業セミナー》

令和6年11月14日(木) 14:00~15:30 於：ホテルメトロポリタン秋田

【主な内容】

第1部 アスリート等競技活動サポート事業

- ☆事業内容の紹介
(公財)秋田県スポーツ協会
- ☆正規雇用奨励金・競技活動サポート補助金の説明
秋田県観光文化スポーツ部 スポーツ振興課
- ☆移住・定住促進事業とのタイアップ
秋田県あきた未来創造部 移住・定住促進課



第2部 主なマッチング選手の紹介

- ☆フェンシング 大塚 昂輝 選手
(有)藤岡農産
- ☆カヌー 三島 遊 選手
万六建設(株)
- ☆相撲 平野 颯人 選手
(株)プレステージ・インターナショナル

第3部 スポーツトーク

テーマ：「アスリートと仕事」アスリートと地域
及び企業との関わり合い 他

岩瀬 浩介 氏 × シャバ駄馬男 氏
(株)ブラウブリッツ秋田 スポーツMC
代表取締役社長



■お問い合わせ 担当：アスリート就職推進アドバイザー 中川トシ子

(公財)秋田県スポーツ協会 スポーツ推進課内 「秋田トップアスリート無料職業紹介所」

Tel 018-864-8094

[HP あきたアスリート就職支援 検索](#) 「アキサポアキタ」Facebookで支援活動発信中



第51回日独スポーツ少年団同時交流 ドイツ派遣事業

- 期 日 7月31日～8月15日
- 受入先 バイエルン・スポーツユエгентⅡ
- 参加者 指導者：古谷政信（大仙市）
団 員：佐々木風音、齋藤和奏、石塚花咲、飯尾月葉（にかほ市）、佐藤蓮彰（大館市）
（東北Ⅰグループ 指導者1名、団員5名、計6名）

日独同時交流に参加して

佐藤蓮彰（SNOWスポ少）

私は、この日独同時交流研修を通じて、自分自身がとても大きく成長したと思いました。特に成長したことは、自ら英語やドイツ語を使いながら、コミュニケーションをとることができたことです。また、ジェスチャーや表情で相手に伝えようとすることができました。

ドイツの人も意外にも性格が内気な人もいたので、自分から話しかけることによって、ホームステイ先の家族と早く打ち解けて、本当の家族のように遠慮なく活動することができました。たくさんの友人ができて自信ができました。

このように、今回の研修では多くの体験ができ、自分自身大きく成長できたと思います。次は私が指導者として、今回の交流で体験できたことを多くの人々に伝え、教えていきたいと思っています。



飯尾月葉（にかほ市リーダー会スポ少）

今回の日独同時交流ではとても貴重な体験をすることができました。1つ目はドイツの文化や土地です。乾燥しており、平地が広がるドイツでは小麦畑や動物を飼育する草原が広がっていました。その小麦でできた黒いパンは日本では食べられない味で、とても美味しかったです。初めて食べたドイツ本場のソーセージは、食べ方が分からず英語を駆使して店員さんに教えて貰いました。また何より、ホストファミリーを含めドイツの方と交流できたことが最も貴重な体験だったと思います。年齢の差をもちもせず、互いに文化や言語を聞きあったり、スポーツやショッピングなどを楽しんだりすることで交流を深めることができました。ドイツで得た経験や友人は生涯の宝物になると確信しています。

第47回秋田県スポーツ少年団(競技別)交流大会

夏期は3種目において、競技を通じて交流を深めた。(※成績は団体のみ掲載)

○サッカー

6月1日～2日・6月8日（西目カントリーパーク他）

- 参加数 45団、720名
- 優勝 ブラウブリッツ秋田U-12スポーツ少年団



○軟式野球

8月8日～12日（さきがけ八橋球場）

- 参加数 16団、352名
- 優勝 湯沢東野球スポーツ少年団



○柔道

9月8日（秋田県立武道館柔道場）

- 参加数 17団、175名
- 優勝
【小学生】男子：小友スポーツ少年団
女子：御野場石川道場スポーツ少年団
【中学生】男子：羽城柔道スポーツ少年団
女子：羽城柔道スポーツ少年団





県内スポーツの主なできごと

7月

14日 第30回全日本マスターズアームレスリング選手権 男子グランドマスターズ70kg級ライトハンド、レフトハンドの両部門で後藤豊（大館市）が優勝

8月

22日 第46回全国中学校軟式野球大会で秋田市立桜中学校が3位

9月

4日 バドミントン女子ダブルス北都銀行の永原和可那・松本麻佑の「ナガマツペア」がペアを解消すると発表

8日 世界ジュニア相撲選手権大会で津谷奏夏（大館鳳鳴高3年）が女子軽量級（60kg未満）で初優勝
全日本大学選手権大会ローイング男子かじなしフォアで山田雄恒（本荘南中出身－立教大学4年）が3度目の優勝

16日 第77回全日本フェンシング選手権大会個人戦 男子フルーレで安部慶輝（緑ヶ丘病院）が初優勝
女子エペでは、成田琉夏（聖霊高出身）が準優勝

10月

23日 パリ五輪バドミントン女子ダブルスで銅メダルを獲得した志田千陽に八郎潟町が町民栄誉章を授与。24日には県民栄誉章が送られた

11月

10日 バドミントンのS/Jリーグ秋田大会で永原和可那・松本麻佑（北都銀行）組が「ナガマツ」として最後の試合に勝利

13日 ブラウブリッツ秋田は、吉田謙監督の続投を発表。6年目となる

16日 バドミントンのアイルランドオープン女子シングルスで舛木さくら（北都銀行）が優勝



秋田県県民栄誉章顕彰式

令和6年10月24日（木）午後1時30分から、秋田県庁「正庁」において、秋田県県民栄誉章顕彰式が挙行されました。顕彰式には、関係者約140人が出席する中、佐竹知事から表彰状と栄誉章（メダル）が、北林県議会議長から記念品が贈呈されました。

県民栄誉章は、学術、スポーツ、芸術、文化等の分野での業績が顕著であって、広く県民に敬愛され、社会に明るい希望を与えるとともに、秋田県の名を高めた方に対して、県がその栄誉をたたえて顕彰するものです。

志田千陽さんは、今夏、パリ2024オリンピックバドミントン女子ダブルスで銅メダルを獲得した功績により、この度の受章となりました。



志 田 千 陽 氏

住 所 熊本県

出身地 八郎潟町

八郎潟レイクジュニア

バドミントンクラブ出身



賛助会員

秋田瀝青建設株式会社

秋田県剣道連盟

オフィシャルサポーター

進学・スポーツ・部活動歓迎 Tel:018-838-7073
 (下宿)パシオン北斗 大町館 秋田市
 Email:p-hokuto@outlook.jp

秋田市大町一丁目 5-38
 パシオン北斗 大町館

会議録(抄)

9月4日 第2回定例理事会

・特別寄附金の受領について

10月3日 総合型スポーツ環境強化委員会・常任委員会

令和6年度 関係団体創立記念行事一覧

関係団体の創立記念行事が次のとおり開催されました。誠におめでとうございます。
 今後の益々の発展とご活躍を祈念いたします。

一般財団法人秋田市スポーツ協会創立90周年記念式典・祝賀会	11月1日	秋田キャッスルホテル
-------------------------------	-------	------------

訃報

永年にわたり、本県スポーツの発展、振興に寄与されましたご功績を称え、
 謹んでご冥福をお祈りいたします。

渡 邊 一 男 氏 参与	令和6年6月21日	御逝去
伊 藤 彊 氏 参与	令和6年7月18日	御逝去
後 条 孟 氏 参与	令和6年10月28日	御逝去

編集後記

「SAGA2024 (第78回国民スポーツ大会)」が終了し、天皇杯45位・皇后杯42位といずれも前回より後退し、2019年を下回る過去最低と残念な結果となりました。

次は、いよいよ「あきた鹿角国スポ2025」、思いを新たに「チーム秋田」が一丸となり、前大会を上回る活躍を期待したいと思います。

本誌の発行にあたり、ご多忙中の折、取材、原稿執筆、写真の提供などご協力くださいました皆様、ご協力ありがとうございました。



想像から創造へ
 あらゆるニーズにお応えする

株式会社 松原印刷社
 (印刷・製本)

〒010-0951 秋田市山王七丁目 5-29
 TEL 018-862-8760 FAX 018-863-0005
 URL <http://www.matsubarainsatsu.co.jp>

Official Partner

ISUZU 新型 FORWARD 誕生



秋田いすゞ自動車株式会社

"Be a blast of wind"

建築物総合管理業

厚生ビル管理株式会社

〒010-0911 秋田市保戸野すわ町6番16

tel : 018-823-4061 fax : 018-823-4074

世の中の課題を、
わたしの課題として考えてみた。

資源がめぐる真ん中に。

DOWA

ドキュメント共有を支援するクラウドサービス

どこからでもアクセス可能、テレワークの推進を支援



クラウド上でドキュメントを共有し情報漏えいリスクを軽減。
業務効率化をご支援いたします。

富士フイルム BI 秋田株式会社

秋田市川尻町字大川反170-92 TEL018-823-4645



3位までフルネームで掲載
記録、プレー写真 随時受付中!

sports-kirokuyo@sakigake.jp まで

秋田新報

社会と共に未来へ歩む
ALWAYS CHALLENGE



YOKOUN
ヨコウン株式会社



☎013-0061 秋田県横手市横手町字大関越 91-1 ☎0182-32-3670

Official Supporter

株式会社秋田銀行
コマツ秋田株式会社
山二建設資材株式会社
秋田信用金庫

佐田建設工業有限会社
花岡土建株式会社
株式会社サノ・ホールディングス
パシオン北斗 大町館



輝きを 汗に 瞳に このまちに
能代山本スポーツリゾートセンター **アリナス**

スポーツ 合宿 研修 … に

ア リ ナ 宿 泊
ト レ ニ ン グ ル ー ム ミ ー テ ィ ン グ ル ー ム
温 水 プ ー ル 室 温 泉 浴 場
研 修 室



〒016-0014 秋田県能代市落合字下台2番地1
JR能代駅から車で10分
TEL 0185(54)9200 FAX 0185(54)2322

秋田のアスリートたちを応援しています

駄菓子・クジ・縁日グッズ
お菓子の袋詰

問屋

しもむら

駄菓子のしもむら 検索

☎018-832-6766

株式会社松 田

地域の発展とともに
株式会社湯沢生コン
松田グループ 株式会社丸栄建設
株式会社出羽運輸

株式会社エィコウ物産

本 社 / 湯沢市字鶴館 39-4 TEL.0183-73-0188

資源を活かして地域社会に貢献

砕石・生コン製造販売業

堀江建材株式会社

代表取締役 鈴木 洸 士

秋田県大館市中道三丁目1番50号
TEL 0186-49-0280
FAX 0186-43-0002

事業内容

会社財務・決算・記帳代行・税務相談・経営助言・
相続・贈与・事業承継対策・医療法人経営指導税務対策

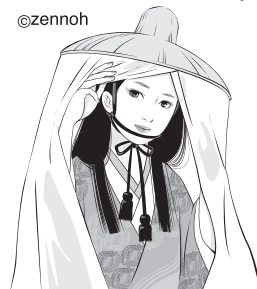
税理士法人
秋田税経プランニング

税理士 高 橋 真 一
税理士 菅 谷 浩

本 店 / 秋田市南通亀の町4番9号 Tel.018-833-4022
菅谷会計 / 秋田市土崎港東二丁目16番24号 Tel.018-845-5648

美人を育む秋田米

@zennoh



あきたこまち



あきたこまちは、やっぱり秋田の誇りです。

JAグループ秋田・JA全農あきた

株式会社 M・S・C 「M's スポーツクラブ」



1号店：土崎教室

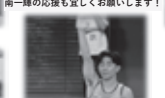
2023 年世界選手権
団体金メダル、ゆか銀メダル
全日本種目別ゆか5連覇
第一陣の応援も宜しくお願いします！



2号店：御所野教室



3号店：宇石教室



4号店：K-POP ダンス教室

TEL:070-5325-2412 FAX:018-828-3309 Mail:m脾club@yahoo.co.jp

☆☆2歳から80歳までの体操教室！大人の健康運動クラスやアクロバットクラスも大人気☆☆

テーマ【体験・経験・発見】 バク転を体験して難しい技を経験して新しい発見を見つけませんか???

合宿するなら ナイスアリーナへ！

ナイスアリーナで
合宿してみませんか。
施設内には合宿棟も
あります！



由利本荘総合防災公園 ナイスアリーナ

〒015-0013

秋田県由利本荘市石脇字田尻野18番地
(国道7号線沿い ハローワーク本荘様向い)

TEL:0184-22-0001

FAX:0184-25-7080

HP: https://shisetsu.mizuno.jp/m-7619

小さな掛金、大きな補償

スポーツ 安全保険



保険の詳細内容、資料の請求は、
 ホームページをご覧ください。



#スポーツチーム #大学クラブ #スポーツ少年団
 #放課後事業 #総合型地域スポーツクラブ #教室
 #部活動地域移行 #文化系サークル #ボランティア

加入区分・掛金 (年度初回加入時は4名以上)

加入対象者	補償対象となる団体・グループ活動	加入区分	年間掛金 (1人当たり)	
子ども (中学生以下)	スポーツ活動	A1	800円	
	文化活動 ボランティア活動 地域活動			
大人 (高校生以上)	スポーツ活動(指導・審判を含む) ●A2区分で対象となる活動も補償されます。	C 64歳以下	1,850円	
		B 65歳以上	1,200円	
	文化活動 ボランティア活動 地域活動 準備・片付け・応援・団体の送迎 ●スポーツ活動中の事故は補償の対象外です。	A2	800円	
全年齢	危険度の高いスポーツ(指導・審判を含む)	D	11,000円	
子ども (中学生以下)	個人活動補償型	A1 区分の補償となる団体活動に加え、個人活動も対象	AW	1,450円
		C 区分の補償となる団体活動に加え、個人活動も対象	CW 64歳以下	4,850円
		B 区分の補償となる団体活動に加え、個人活動も対象	BW 65歳以上	5,000円

※特別支援学校高等部の生徒を含みます。 年間掛金には、制度運営費(10円)が含まれます。
 (注)C・B・CW・BW区分の年齢の判断は「令和6年4月1日」を基準とします。

本広告はスポーツ安全保険の概要を掲載しており、ご加入の際には、必ず「スポーツ安全保険のあらまし」及び「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は保険約款及び特約書によりますが、ご不明の点については(公財)スポーツ安全協会または東京海上日動火災保険(株)へお問い合わせください。

〈引受幹事保険会社〉

東京海上日動火災保険株式会社 ☎ 0120-233-801
 担当課 公務第2部 文教公務室 (平日9:00~17:00)

〈共同引受保険会社(令和6年4月予定)〉

あいおいニッセイ同和 共栄火災 損保ジャパン 大同火災 東京海上日動 日新火災 三井住友海上 AIG損保

公益財団法人スポーツ安全協会
<https://www.sportsanzen.org>

令和5年12月作成 23TC-006571